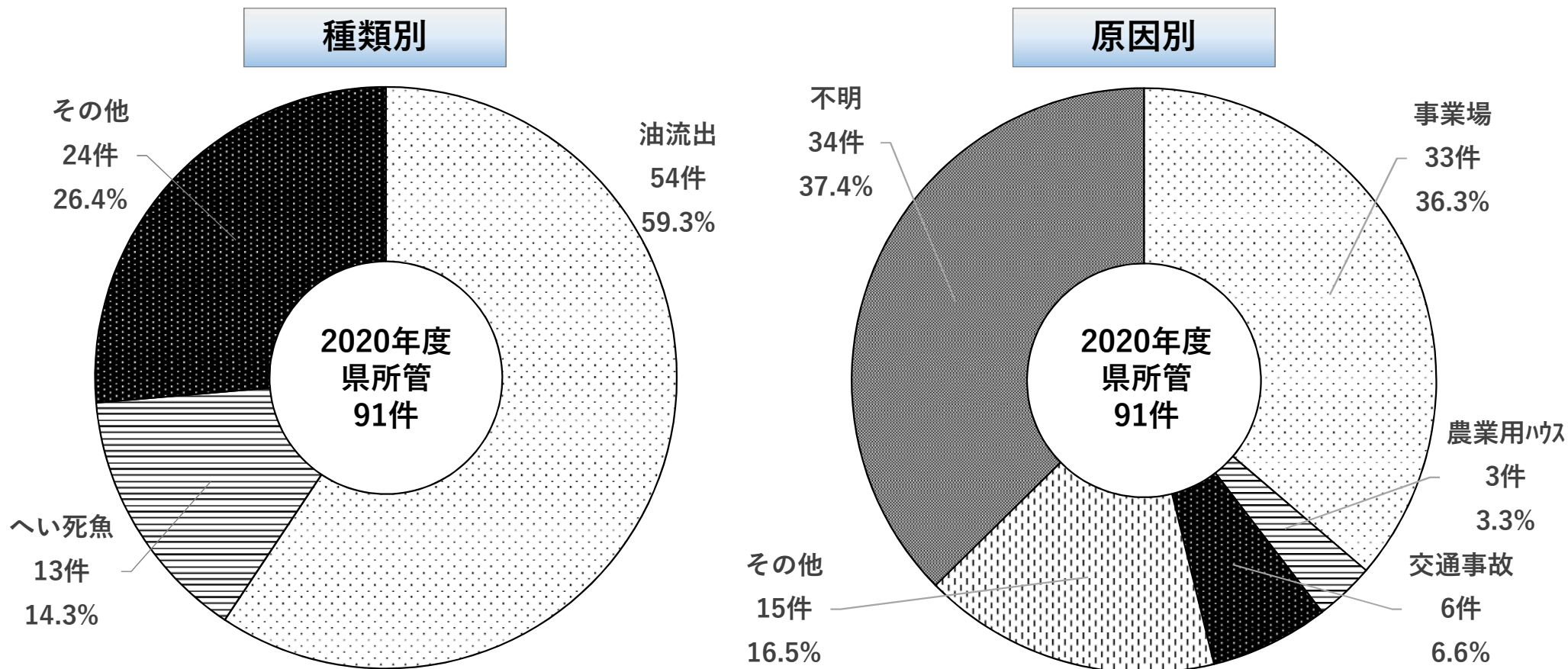


愛知県における水質事故発生状況（2020年度愛知県所管分※）



種類\原因	事業場	農業用ハウス	交通事故	その他 (個人宅等)	不明	計
油流出	16	3	6	11	18	54
へい死魚	1	0	0	0	12	13
その他 (汚水等)	16	0	0	4	4	24
計	33	3	6	15	34	91

※ 愛知県が通報を受理した事故件数（2020年度:109件）から、県外や水質汚濁防止法政令市で発生した事故を除く件数

2020年度水質事故事例（愛知県所管分）①

No.	事故種類	流出物質	発生箇所 流出量	河川等 流出量	原因者 (業種等)	事故概要	主な原因	主な対応 (上段：応急措置 下段：再発防止対策)
1	油流出	切削油	不明	不明	金属製品 製造業	工場外の地面に付着した油が、雨水側溝、水路を経由して河川に流出した。	工場内外の床面の油の清掃不足	水路にオイルマットを設置、側溝に堆積した汚泥を清掃。 工場出入口に靴裏洗浄とマットを設置、油水分離槽を設置
2	その他	未処理排水	約200L	少量	化学工業	排水貯留タンクから未処理排水が越流し、一部が場内側溝を経由して排水口から海に流出した。	流量計の誤作動により送水が止まらなかった	タンクへの送水停止、海にオイルフェンス・オイルマットを設置、工場内の排水を回収 排水タンク底部に溜まる油を定期的に回収し流量計の誤作動を防止、タンク上部に液面センサーを設置、タンク周囲にコンクリート製囲いを設置し側溝への流入を防止
3	油流出	エンジン オイル	約870L	約350L	自動車整備 業	屋内タンクの配管からエンジンオイルが漏洩し、場内排水溝から油水分離槽を経由して河川に流出した。	配管の腐食による漏洩	配管バルブの閉鎖、場内・油水分離槽・水路の油を回収 腐食配管の交換、場内の類似配管の総点検。排水溝及び油水分離槽の日常点検、オイルマット等緊急時用資材を準備
4	その他	高濃度排水	不明	約500～ 1500L	鉄鋼業	排水処理設備沈殿槽の清掃中に高濃度排水を吸い上げ、放流口から海に流出した。	上澄み排水を水中ポンプで吸い上げる際、汚泥近傍の濁水を吸い上げた	放流槽の自動計測器（2時間おき）で異常検知後、最終放流口を閉鎖 同様の清掃等作業時の槽内汚泥の高さ変化を想定した作業手順化、排水監視体制の確立

※表に掲げた事例は、県所管分の水質事故のうち原因を特定できた事例を一部抜粋したものである。

2020年度水質事故事例（愛知県所管分）②

No.	事故種類	流出物質	発生箇所 流出量	河川等 流出量	原因者 (業種等)	事故概要	主な原因	主な対応 (上段：応急措置 下段：再発防止対策)
5	油流出	ガソリン	約600L	少量	その他の小売業	ガソリンスタンドでタンクローリーから地下タンクへのガソリン受入れ時にガソリンが溢れ、側溝に流出した。	地下タンクのメーター故障	側溝及び油水分離槽に溜まったガソリンを回収 メーターを修理し、消防の承認を受けた後に営業再開
6	油流出	A重油	約30L	約30L以下	保健衛生	タンクに重油補給時に溢れ、水路を経由して河川に流出、一部はポンプ場まで達した。	タンクのメーター故障、タンクの通気口から漏洩	場内、水路、ポンプ場の油を回収 給油作業時に通気口を確認するよう手順書変更
7	油流出	灯油	不明	500mL未満	石油製品・石炭製品製造業	コンクリート護岸の目地部分から油が海に流出した。	護岸付近の土壤に浸透していた油が目地部分の隙間から流出	海面の油を吸着・回収。護岸周囲の土壤を掘削し、護岸コンクリートの目地を補修。 土壌中の油分及び周辺地下水のモニタリング調査
8	油流出	水溶性切削油	最大約70L	最大約70L	金属製品製造業	大雨に伴い切削油タンクに雨水が入り込み油がオーバーフローし、水路に流出した。	切削油タンクに雨水が入り込んだ	排水口に土嚢設置、雨水ますの汚水を回収 タンクに液面センサー設置、機械付近からのタンクへの排水経路を遮断
9	油流出	切削油	不明	不明	輸送用機械器具製造業	アルミ切粉置場のブロック塀から含油廃水が染み出し、工場外の側溝を経由して河川に流出した。	切粉置場に誤って含油廃水を投入、ブロック塀のひび割れ	切粉置場裏に土嚢及び吸着マットで堰き止め、回収 含油排水の正しい処理手順を明示及び社内教育、ひび割れの修繕
10	油流出	軽油	800L	不明	道路貨物運送業	地下軽油タンクから軽油が漏洩し、河川へ流出した。	軽油配管の破損	オイルマット設置、バキュームで回収 地下タンク・配管・給油機を更新

※表に掲げた事例は、県所管分の水質事故のうち原因を特定できた事例を一部抜粋したものである。

2020年度水質事故事例（愛知県所管分）③

No.	事故種類	流出物質	発生箇所 流出量	河川等 流出量	原因者 (業種等)	事故概要	主な原因	主な対応 (上段：応急措置 下段：再発防止対策)
11	油流出	A重油	不明	不明	建設業	重油タンク撤去作業時に少量残っていた重油が、側溝を経由して河川に流出した。	撤去作業時の確認不足・不注意	吸着マットで回収、タンク下の土壌入替え 撤去作業前に内容物の有無を確認するよう手順確立
12	油流出	エンジンオイル	20L	20L	建築材料、 鋳物・金属材料等卸売業	大雨により油水分離槽から油が事業場外に流出した。	大雨による油水分離槽のオーバーフロー	ポンプ等による回収、水路に吸着マット設置 大雨予報時はあらかじめ油水分離槽を清掃
13	油流出	食品系油脂	不明	不明	食料品製造業	油を含む雨水が場内側溝を経由して水路に流出した。	場内側溝に油脂を含む泥状物が堆積していた	側溝の清掃 グリストラップや側溝の定期的な清掃
14	油流出	重油	20～60L	不明	木材・木製品製造業	ボイラーの配管部から重油が流出し、河川に流出した。	重油配管の腐食による破損	燃料タンクのバルブ閉鎖 配管の交換（錆びないように地面から離して設置）
15	その他	未処理の畜産排水	約3m ³	約3m ³	畜産業	汚水配管の破損により未処理の畜産排水が事業場外の水路に流出した。	汚水配管の劣化による破損	水路内の汚水をバキュームで回収 配管を交換
16	その他	水性塗料含有洗浄水	約5t（回収量）	約5t（回収量）	印刷業	水性塗料洗浄水タンクに水道水が流入したため、タンクから塗料含む水が事業場外に流出した。	水道管凍結による破損により水道水がタンクに流入	側溝内の汚水を回収 水道管に断熱材を貼って凍結を防止
17	その他	未処理酸性排水	約0.5t	約0.5t	食料品製造業	排水処理施設の原水貯留槽から原水が流出し、事業場外の側溝を経由して河川へ流出した。	排水処理不調のため原水貯留槽がほぼ満水のところにさらに原水が流入しオーバーフロー	原水貯留槽及び側溝から予備槽にポンプで移送 原水受入可能量を毎日実測し、翌日の生産量を調整

※表に掲げた事例は、県所管分の水質事故のうち原因を特定できた事例を一部抜粋したものである。

2020年度水質事故事例（愛知県所管分）④

No.	事故種類	流出物質	発生箇所 流出量	河川等 流出量	原因者 (業種等)	事故概要	主な原因	主な対応 (上段：応急措置 下段：再発防止対策)
18	その他	MgCl溶液及び汚泥	約2m ³	約2m ³	非鉄金属製造業	排水処理設備の配管の破損箇所から塩化マグネシウムを含む水及び汚泥が事業場外の水路に流出した。	排水処理施設の沈降分離槽配管の老朽化による破損	設備の停止、水路の汚泥等をバキュームで回収
								水路のかさ上げ、配管の点検・交換頻度の明確化、報告体制の強化及び従業員教育
19	油流出	重油	不明	不明	農業	農業用ハウスの重油タンクの配管から漏洩し、ハウス横の側溝を經由して河川に流出した。	重油配管の劣化による破損	配管を閉鎖。オイルマット等により油を回収
								配管の交換
20	油流出	水溶性切削油	数十L	不明	金属製品製造業	工場内にこぼした水溶性切削油が降雨により雨水とともに場外に流出した。	水溶性切削油を補充時にこぼしてしまった、清掃が不十分であった	油及び油混じり土砂の回収
								使用していない排水口の閉鎖、切削油補充方法の変更

※表に掲げた事例は、県所管分の水質事故のうち原因を特定できた事例を一部抜粋したものである。